

## 平成30年8月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km<sup>2</sup>)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,494	8,876	4,522	4,354	△ 9	△ 5
2 千 石	4,027	6,893	3,454	3,439	△ 6	△ 9
3 内 山	5,642	7,826	4,141	3,685	27	18
4 大 和	3,405	6,692	3,311	3,381	4	5
5 上 野	7,263	15,367	7,659	7,708	9	36
6 高 見	7,359	13,503	6,474	7,029	21	44
7 春 岡	6,872	10,935	5,758	5,177	10	7
8 田 代	11,556	22,026	10,644	11,382	7	△ 12
9 東 山	10,324	19,462	9,583	9,879	△ 11	△ 6
10 見 付	4,345	8,154	4,122	4,032	△ 62	△ 70
11 星 ケ 丘	3,535	6,894	3,114	3,780	3	△ 8
12 自 由 ケ 丘	3,522	7,221	3,289	3,932	△ 7	△ 18
13 富 士 見 台	6,466	15,416	7,146	8,270	2	8
14 宮 根	3,831	8,299	3,971	4,328	4	5
15 千 代 田 橋	3,670	8,536	4,013	4,523	12	14
千 種 区 計	87,311	166,100	81,201	84,899	4	9
H29. 8. 1	86,660	166,107	81,233	84,874	75	80
対 前 年 比	651	-7	-32	25	△ 71	△ 71
名 古 屋 市	1,101,572	2,320,047	1,145,681	1,174,366	466	309
愛 知 県 ( H30. 7. 1 )	3,188,001	7,537,236	3,770,830	3,766,406	2,281	1,244

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	91	98	△ 7	1,109	1,093	16

【参考】

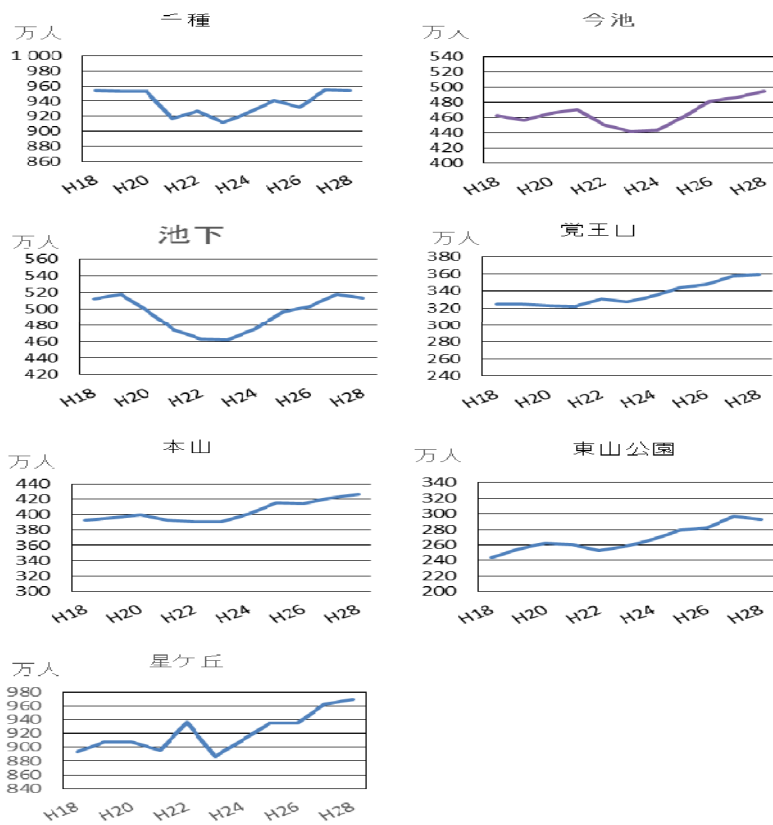
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

## 千種区内の地下鉄各駅の乗車人員の状況

平成30年8月1日現在の千種区の人口は166,100人となっており、世帯数は87,311世帯となっています。今回は、千種区内にある地下鉄各駅の乗車人数の状況を見てみます。

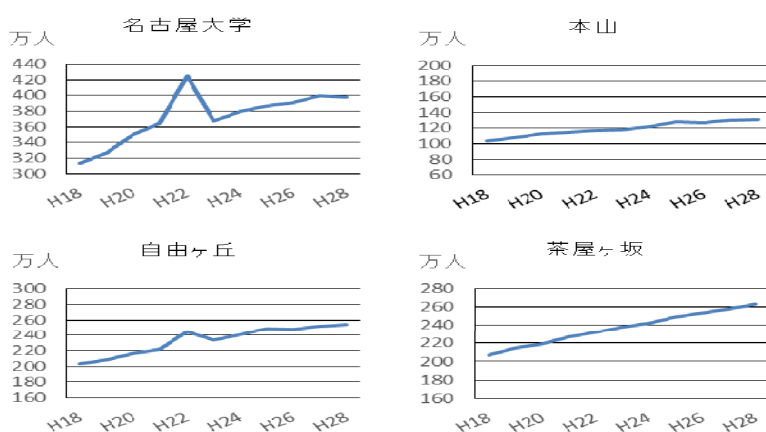
図1：千種区内の東山線各駅の乗車人員数



まず、千種区を東西に横断している東山線を見ても、平成28年度の乗車人員数は、多い順に星ヶ丘(約969万人)、千種(約954万人)、池下(約513万人)、今池(約495万人)、本山(約427万人)、覚王山(約359万人)、東山公園(約293万人)となっています。商業が盛んな地域や、学校の多い地域に位置する駅が上位になっています。

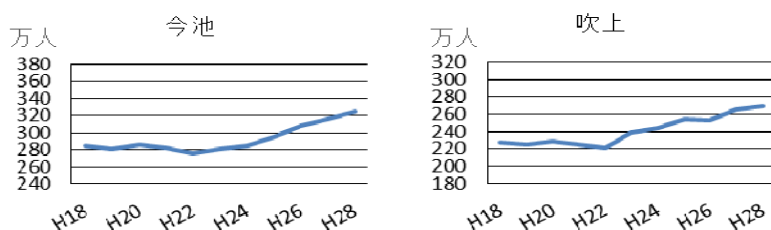
平成23年までは、千種、今池、池下は減少傾向、覚王山、本山、東山公園はほぼ横ばい、星ヶ丘は平成22年に急増し翌年に減少するなど様々でしたが、平成24年以降は全部の駅で増加傾向となっています。

図2：千種区内の名城線各駅の乗車人員数



つぎに、千種区を南北に縦断する名城線を見ても、平成28年度の乗車人員数は、多い順に名古屋大学(約398万人)、茶屋ヶ坂(約263万人)、自由ヶ丘(約255万人)、本山(約130万人)となっています。名古屋大学、自由ヶ丘で平成22年に急激に増加し翌年に減少したのを除けば全ての駅で増加傾向が続いています。

図3：千種区内の桜通線各駅の乗車人員数



最後に桜通線を見ても、平成28年度の乗車人員数は、今池(約324万人)、吹上(約270万人)です。両駅とも平成22年頃まではほぼ横ばいでしたが、その後は増加傾向が続いています。